

# ヨーロッパ哲学史 17～19世紀の概観。

—— に矢印をつけなさい

17世紀イギリス

**経験論**  
イギリス経験論

経験こそすべての認識の源泉であるとする。観察や実験を重ねて多くの個別的事実をつかみ、そこから一般的な法則（理論）を導き出す。  
 ・・・・**帰納法** きのうほう  
 ☆ 17世紀後半以降イギリスを中心に自然科学が学問として確立したのはこの影響！

《唯物論的经验論》  
 経験を客観的存在の反映とみなす。  
 ○ 【1:フランシス＝  
 Francis Bacon 英 1561-1626 『新オルガヌム』  
 ロジャー＝ベーコン (英 1214?-94) は経験論の先駆者  
 ○ J. ロック Lock 英 1632-1704  
 『人間悟性論』

《観念論的经验論》  
 経験を「心の中の事実」と見なす。  
 ○ ヒューム Hume 英 1711-76  
 経験論→懐疑論に至る

17世紀フランス

**合理論**  
大陸合理論

人間の理性を認識の出発点とする。感覚(=経験)は信頼できない。経験の助けを借りることなく、ある命題を立てそれを論理的に発展させ、一般的法則を導き出す。  
 ・・・・**演繹法** えんえきほう

◎ 【2: Descartes 仏 1596-1650  
 「われ思う、ゆえにわれあり」 Cogito ergo sum  
 すべての存在を疑ったのち、その疑う自分の存在を確信したデカルトの言葉。『方法序説』の一節。合理主義哲学の出発点

○ スピノザ Spinoza 蘭 1632-77  
 数学的合理主義による一種の汎神論  
 物心ともにすべては神から生まれた

○ ライプニッツ Leibniz 独 1646-1716  
 無数の単子(モナド)がに宇宙を構成  
 ・単子論 微分・積分学の創始者！

**ドイツ観念論**

イギリス経験論と大陸合理論を統合したのは  
 ◎ 【3: Kant 独 1724-1804  
 《批判前期》 カント＝ラプラス説  
 『天体の一般自然史と理論』  
 《批判後期》 **批判哲学** (先験的観念論)  
 経験論・観念論ともに独断的であり、認識の可能性や限界を明らかにすべきだ、とする批判主義の立場をとる。  
 『純粹理性批判』

客観的実在としての「物自体」を認めるが認識できるのは現象だけだとして「物自体」の認識の可能性を否定した。

○ フイヒテ Fichte 独 1762-1814  
 カントの実践理性の思想を強化し  
 主観的観念論を樹立した。

○ シェリング Schelling 独 1775-1854  
 精神(自我)と自然の合一に知識は基づく(同一哲学)。晩年は神秘主義に陥る。  
 実存主義に影響与える。

ドイツ観念論を完成させたのは  
 ◎ 【4: Hegel 独 1770-1831  
 弁証法哲学を完成、自然・歴史・精神の世界に当てはめた。  
 存在や思惟(正)は絶えずその内部に矛盾(反)をはらみながら、より高い次元でそれを統一(合)、無限に発展。

**フランス唯物論**＝百科全書派

すべての超自然的・神秘的なものを排除した唯物論的世界観の確立をめざし、合理主義、自由主義、個人主義の原理にたつ啓蒙思想の立場から実際に百科全書を編纂した。

○ デイドロー Diderot 仏 1713-84  
 無神論者、唯物論者であった。

○ ダランベール d'Alembert 仏 1717-83

**功利主義**

人生の目的である幸福は量的に測定可能であって、最大多数者の最大幸福を実現することが社会の発展につながる。

○ ベンサム Bentham 英 1748-1832  
 ○ J.S.ミル John Stuart Mill 英 1806-73  
 社会改良主義を主張  
 「満足した豚になるより不満足な人間となる方がよい」

**実存主義**

人間を、合理的に説明できない非合理的なものと捉え、不安・絶望の中から主体的かおり方を探るとき、超越者(神または無)を自覚せねばならない。

○ キェルケゴール Kierkegaard デ 1813-55  
 ○ ニーチェ Nietzsche 独 1844-1900  
 『神は死んだ』『ツァラトゥストラかく語りき』  
 ○ ハイデッガー Heidegger 独 1889-1976  
 ○ ヤスパース Jaspers 独 1883-1969  
 ○ サルトル Sartre 仏 1905-1980  
 『**実存は本質に先立つ**』《やや頻出》  
 ○ カミュ Camus 仏 1913-60

**ヘーゲル学派左派**

○ フォイエルバッハ Feuerbach 独 1804-72  
 『キリスト教の本質』

マルクス、エンゲルス、レーニン (マルクス主義哲学)

多くの現代哲学の流れはここから出発

【 】 記入例 1:ベーコン 2:デカルト 3:カント 4:ヘーゲル

# ヨーロッパ政治思想史概観

政治史上重要な文書・事件

主な思想と思想家たちの年代的な位置 (不完全な表である)

1:	
↑ Magna Carta 英 1215 年	
2:	の
↑ Petition of Right 英 1628 年	
3:	革命
↑ 1642 ~ 1649 年 ウェストファリア条約 1648 年	
クロムウェル独裁 王政復古 1660 年	
4:	革命
↑ 1688 ~ 1689 年	
5:	の
↑ Bill of Rights 英 1689 年 アメリカ独立革命 1776 ~ 1783 年 【12】の影響も!	
6:	宣言
↑ 1776 年 7 月 4 日	
7:	憲法
↑ 1787 年 フランス革命勃発 1789 年	
8:	
↑ 1789 年 8 月 26 日	

17~18世紀のヨーロッパでは、伝統や信仰が相対化され、**進歩の観念**が生まれた。

**自然法思想**  
【9: 】※=国際法の祖  
近代自然法の父 Grotius 蘭 1583-1645

対立

国王の権力=国家主権  
○ボダン Bodin 仏 1530-96

【10: 説】  
○ボッシュエ  
Bossuet 仏 1627-1704

社会契約説は自然法思想に基礎をおいている。

**社会契約説**

【11: 説】  
Hobbes 英 1588-1679  
『リヴァイアサン』1651  
**王の専制は当然**

結論は正反対

**王権は制限せらるべきもの**  
【12: 説】  
Locke 英 1632-1704  
『統治論二篇』1690  
(市民政府二論)  
名誉革命を正当化

【13: 説】  
Rousseau 仏 1712-78  
『人間不平等起源論』1755  
『社会契約論』1762

○ジェファソン 6 の起草者  
Jefferson 米 1743-1826

○ラ=ファイエット 8 起草者の一人  
La Fayette 仏 1757-1834

啓蒙思想とは、**人間の理性の光に照らして事物を検討し、迷信や偏見を打破すべきであるとする思想。**

実はこれらの全体が  
**啓蒙思想**

狭い意味での**啓蒙思想**

【14: 派】  
○ディドロ  
Diderot 仏 1713-84  
○ダランヴェール  
d'Alembert 仏 1717-83

○【15: 説】  
Montesquieu 仏 1689-1775  
『法の精神』1748 **三権分立**

○【16: 説】  
Voltaire 仏 1694-1778  
『哲学書簡』1734、『寛容論』  
↑啓蒙運動の引き金となった!  
フリードリヒ2世に直接助言  
エカチェリーナ2世に助言(文通)  
(啓蒙専制君主)

ここに掲げた偉大な啓蒙思想家でフランス革命の時に生存していた人は1人もいない

※【9】の主著は『戦争と平和の法 (De jure belli ac pacis)』(1625年)《頻出》

## 【MEMO】

- |  |      |                |          |           |            |           |
|--|------|----------------|----------|-----------|------------|-----------|
|  | 記入例  | 1:大憲章(マグナ・カルタ) | 2:権利の請願  | 3:ピューリタン  | 4:名誉       | 5:権利の章典   |
|  | 【  】 | 記入例            | 6:アメリカ独立 | 7:アメリカ合衆国 | 8:人権宣言     |           |
|  |      |                | 9:グロティウス | 10:王権神授   | 11:ホブズ     | 12:ロック    |
|  |      |                | 13:ルソー   | 14:百科全書   | 15:モンテスキュー | 16:ヴォルテール |